

I 農業および畜産の概要

1. 農業の概況

(1) 農業人口と農家戸数

本県の人口は、1,457千人となっており、世帯数は609,411世帯となっている。

(令和2年3月1日現在推計人口 沖縄県統計課より)

産業別就業者数においては、第一次産業者数の全産業に占める割合は、3.9%となっている。

産業別就業者数の推移

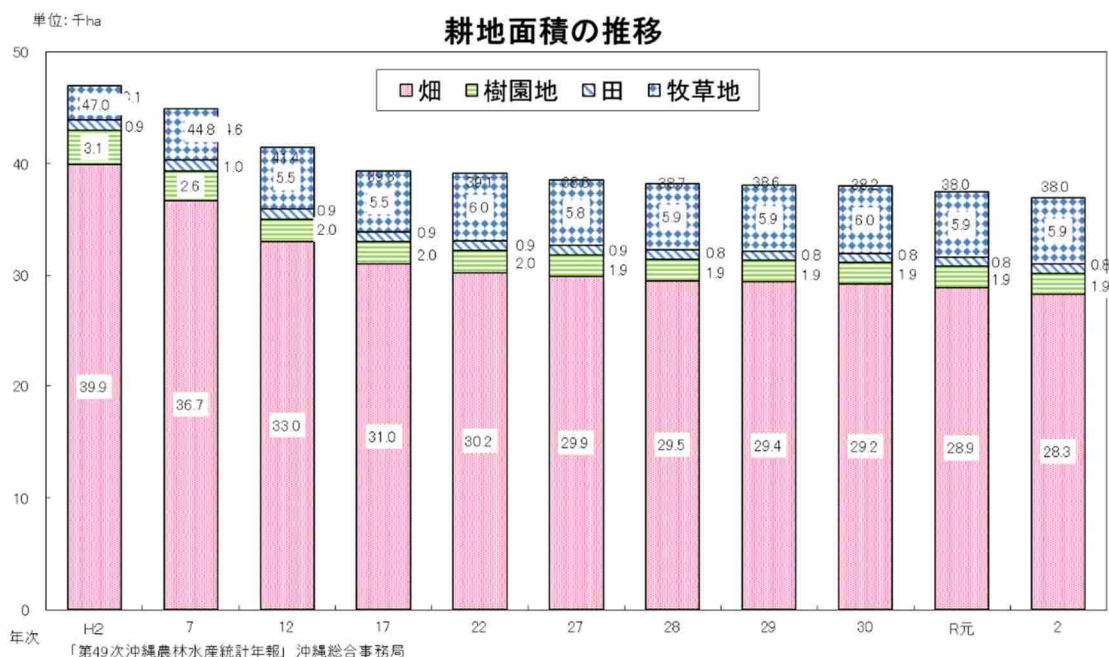
単位:千人

年	区分	全産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
H28年	実数	679	32	104	535
	構成比		4.7%	15.3%	78.8%
H29年	実数	691	30	102	552
	構成比		4.3%	14.8%	79.9%
H30年	実数	707	29	105	563
	構成比		4.1%	14.9%	79.6%
R元年	実数	726	32	108	575
	構成比		4.4%	14.9%	79.2%
R2年	実数	727	28	105	584
	構成比		3.9%	14.4%	80.3%

労働力調査 沖縄県統計課資料より

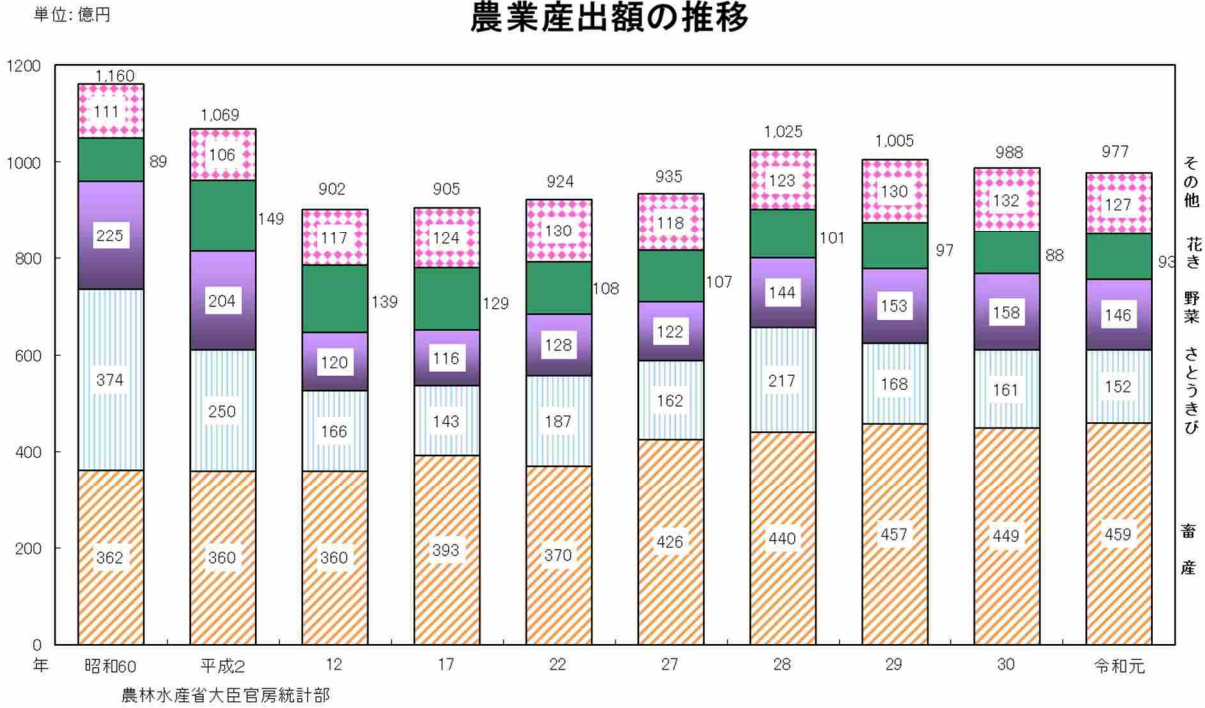
(2) 耕地面積の推移

耕地面積は、平成2年以降毎年減少傾向にあるが、その中で牧草地はおおむね現状維持となっている。

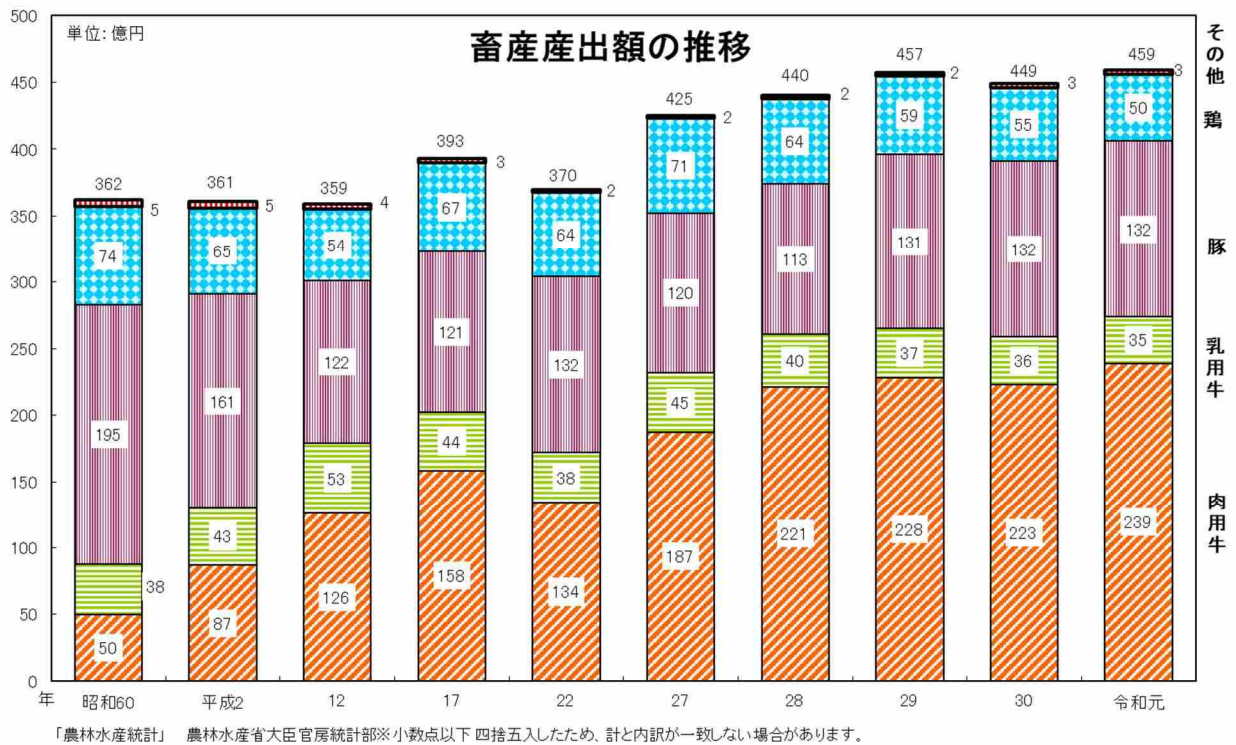


(3) 農業・畜産産出額

本県の農業産出額は、令和元年は 977 億円で、そのうち畜産は農業全体の約 46.9%を占めており、引き続き農業の基幹的部門となっている。



令和元年の畜産産出額は 459 億円で、前年に比べ 10 億円増加した。内訳では肉用牛が最も多く全体の 52.1%を占め、次いで豚が 28.7%、鶏が 10.9%、乳用牛が 7.8%となっている。



2. 畜産の概要

本県の畜産は、温暖な亜熱帯気候を生かし、規模拡大、経営基盤の強化が図られてきた。近年、我が国においては口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱が発生しており、本県においても令和2年1月に豚熱が発生し、今後、更なる家畜伝染病に対する防疫体制を強化する必要がある。

一方、T P P問題、配合飼料価格の高止まり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う経済活動の自粛など、畜産経営にとっては、厳しい状況におかれている。

家畜飼養戸数の推移

単位：戸

	S60	H2	7	12	17	22	27	28	29	30	R元	2
肉用牛	4,787	4,111	3,800	3,472	3,165	3,163	2,551	2,489	2,444	2,384	2,307	2,274
乳用牛	212	189	165	146	123	93	79	73	70	66	64	63
豚	2,193	1,072	660	483	349	381	328	310	288	273	276	267
採卵鶏	464	399	603	520	536	519	391	352	315	297	301	291
ブロイラー	49	30	22	22	28	21	26	24	23	23	21	20

「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」県畜産課

家畜飼養頭羽数の推移

単位：頭、千羽

	S60	H2	7	12	17	22	27	28	29	30	R元	R2
肉用牛	40,705	46,002	66,392	80,491	78,219	83,512	70,487	71,956	73,134	73,836	73,783	74,257
乳用牛	8,352	9,232	9,065	7,661	6,436	5,027	4,375	4,300	4,348	4,241	4,252	4,231
豚	323,575	317,303	315,487	298,657	240,524	248,275	210,863	211,452	210,756	206,828	218,081	212,665
採卵鶏	1,512	1,514	1,317	1,614	1,474	1,446	1,439	1,459	1,445	1,369	1,387	1,375
ブロイラー	670	990	850	835	741	850	595	583	617	574	602	460

「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」県畜産課



供用種雄牛：「茂北福」号 ※北福波の後継 No. 1 の実力

地域別家畜飼養戸数・頭数

(単位：戸、頭、千羽)

		H25	26	27	28	29	30	R元	2		
肉用牛	北部	戸数	332	343	326	321	315	313	302	300	
		頭数	12,456	12,297	12,773	13,991	14,415	14,461	14,564	14,152	
	中部	戸数	279	273	271	264	261	271	274	289	
		頭数	5,765	5,701	5,827	5,883	6,005	6,435	6,527	7,168	
	南部	戸数	323	303	308	302	305	305	301	292	
		頭数	7,946	7,872	8,440	8,806	9,023	9,276	9,043	9,410	
	宮古	戸数	1,042	1,013	957	916	865	811	765	722	
		頭数	14,611	14,716	14,198	13,832	13,790	13,934	13,884	13,416	
	八重山	戸数	709	704	689	686	698	684	665	671	
		頭数	29,188	29,438	29,249	29,444	29,901	29,730	29,765	30,111	
	計	戸数	2,685	2,636	2,551	2,489	2,444	2,384	2,307	2,274	
		頭数	69,966	70,024	70,487	71,956	73,134	73,836	73,783	74,257	
	乳用牛	北部	戸数	12	12	11	10	9	8	7	6
			頭数	748	668	569	547	606	657	633	536
中部		戸数	11	10	9	8	6	6	5	6	
		頭数	598	532	482	488	447	397	429	371	
南部		戸数	51	53	51	47	47	45	46	45	
		頭数	3,015	3,185	2,965	2,929	2,968	2,957	2,969	3,123	
宮古		戸数	1	1	1	1	1	0	0	0	
		頭数	142	199	131	120	105	0	0	0	
八重山		戸数	6	7	7	7	7	7	6	6	
		頭数	228	235	228	216	222	230	221	201	
計		戸数	81	83	79	73	70	66	64	63	
		頭数	4,731	4,819	4,375	4,300	4,348	4,241	4,252	4,231	
豚		北部	戸数	150	142	127	124	108	99	112	95
			頭数	104,444	100,277	102,843	101,828	107,022	106,906	97,773	104,200
	中部	戸数	94	87	80	74	72	70	65	63	
		頭数	39,131	38,128	37,965	34,514	35,837	35,129	31,425	28,185	
	南部	戸数	90	88	91	87	80	74	72	73	
		頭数	69,573	66,084	63,960	69,321	61,403	58,888	84,426	78,447	
	宮古	戸数	11	11	15	11	12	14	13	12	
		頭数	675	753	645	515	618	708	686	649	
	八重山	戸数	13	16	15	15	16	16	14	24	
		頭数	5,919	5,590	5,450	5,274	5,876	5,197	3,771	1,193	
	計	戸数	358	344	328	311	288	273	276	267	
		頭数	219,742	210,832	210,863	211,452	210,756	206,828	218,081	212,674	
	採卵鶏	北部	戸数	199	170	159	145	131	124	128	107
			羽数	547,151	522,571	486,518	529,258	511,239	508,955	541,013	522,241
中部		戸数	123	116	101	101	87	90	92	80	
		羽数	150,514	166,023	165,973	166,708	171,031	132,777	159,183	156,402	
南部		戸数	55	50	46	43	34	34	33	38	
		羽数	816,219	780,834	702,898	683,336	685,717	651,418	617,773	627,351	
宮古		戸数	15	13	14	9	11	6	12	21	
		羽数	30,626	34,602	35,300	31,950	33,226	34,250	34,928	32,653	
八重山		戸数	53	72	71	54	52	43	36	45	
		羽数	49,182	49,003	47,859	48,132	43,586	41,645	33,650	36,380	
計		戸数	445	421	391	352	315	297	301	291	
		羽数	1,593,692	1,553,033	1,438,548	1,459,384	1,444,799	1,369,045	1,386,547	1,375,027	
ブロイラー		北部	戸数	19	20	19	18	18	16	15	16
			羽数	689,520	627,253	589,133	576,864	610,108	566,716	594,797	455,320
	中部	戸数	1	0	0	0	0	0	0	0	
		羽数	5	0	0	0	0	0	0	0	
	南部	戸数	3	5	3	3	2	4	4	2	
		羽数	4,350	5,245	5,000	5,000	4,700	5,330	4,725	3,150	
	宮古	戸数	0	0	0	0	0	0	0	0	
		羽数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	八重山	戸数	3	3	4	3	3	3	2	2	
		羽数	2,650	1,650	1,681	1,375	2,225	2,215	2,000	1,300	
	計	戸数	26	28	26	24	23	23	21	20	
		羽数	696,525	634,148	595,814	583,239	617,033	574,261	601,522	459,770	

「12月末家畜・家さん等の飼養状況調査」県畜産課

全国的にみた沖縄県畜産の地位（令和3年2月現在）

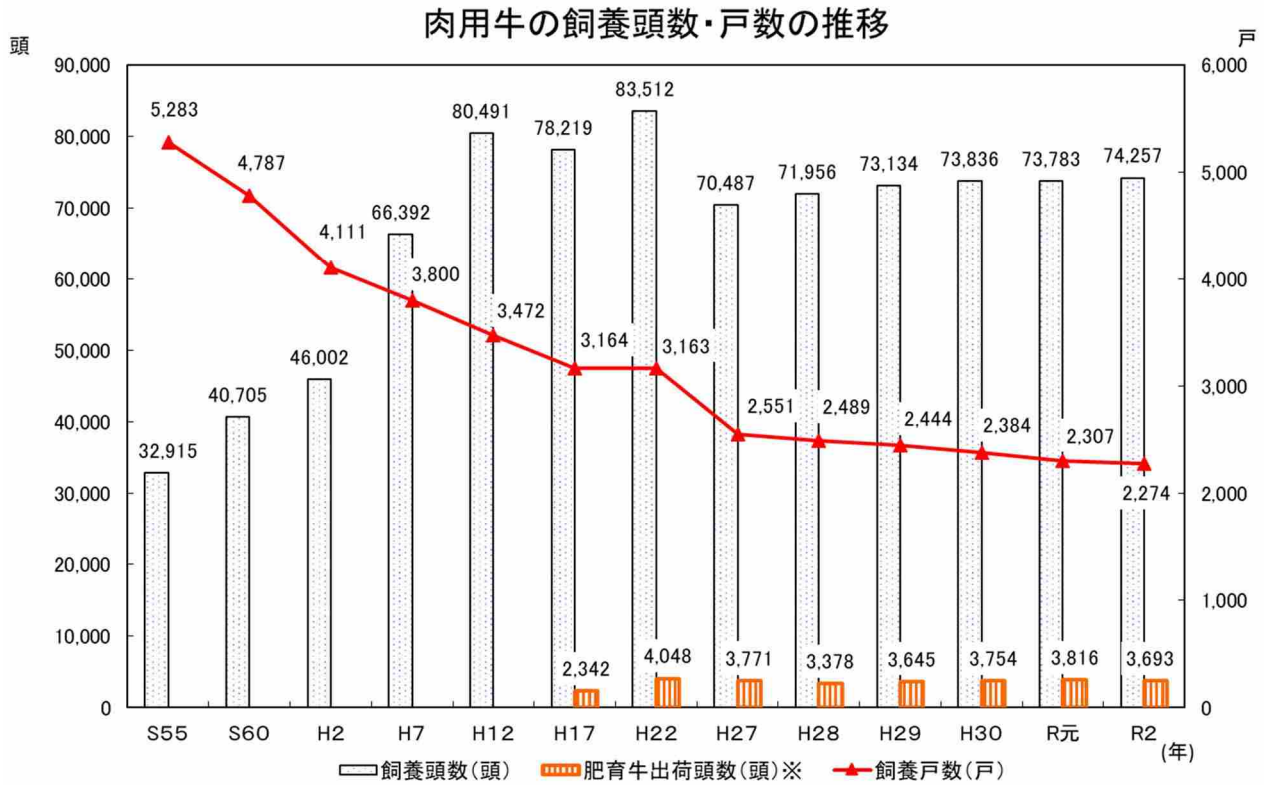
（単位：戸、頭、千羽）

畜種	沖縄県の順位（上段）		
	飼養戸数	飼養頭羽数	一戸当たり
肉用牛	8位（2,250戸）	8位（81,900頭）	42位（36.4頭／戸）
全国 2,604,000頭 42,100戸	1位 鹿児島県(7,030) 2位 宮崎県(5,150) 3位 岩手県(3,860)	1位 北海道(535,800) 2位 鹿児島県(351,000) 3位 宮崎県(250,000)	1位 北海道(235.0) 2位 滋賀県(224.7) 3位 三重県(194.6)
乳用牛	33位（64戸）	32位（4,310頭）	19位（64.4頭／戸）
全国 1,356,000頭 13,900戸	1位 北海道(5,720) 2位 岩手県(812) 3位 栃木県(639)	1位 北海道(830,300) 2位 栃木県(53,100) 3位 熊本県(43,800)	1位 三重県(181.4) 2位 北海道(145.2) 3位 島根県(123.9)
豚	5位（225戸）	13位（203,400頭）	41位（904頭／戸）
全国 9,290,000頭 3,850戸	1位 鹿児島県(477) 2位 宮崎県(404) 3位 茨城県(285)	1位 鹿児島県(1,234,000) 2位 宮崎県(796,900) 3位 北海道(724,900)	1位 島根県(7220.0) 2位 岩手県(5,707.1) 3位 青森県(5,598.4)
採卵鶏	21位（40戸）	30位（1,251千羽）	39位（25.3千羽／戸）
全国 180,918千羽 1,880戸	1位 愛知県(124) 2位 鹿児島県(116) 3位 千葉県(104)	1位 茨城県(17,756) 2位 鹿児島県(12,008) 3位 千葉県(11,605)	1位 青森県(197.5) 2位 岩手県(190.8) 3位 秋田県(151.7)
ブロイラー	26位（14戸）	28位（636千羽）	25位（45.4千羽／戸）
全国 139,658千羽 2,160戸	1位 宮崎県(443) 2位 鹿児島県(381) 3位 岩手県(315)	1位 宮崎県(28,012) 2位 鹿児島県(27,085) 3位 岩手県(22,600)	1位 北海道(565.2) 2位 鳥取県(292.9) 3位 岡山県(209.3)

資料：農林水産省「畜産統計（令和3年2月1日現在）」

(1) 肉用牛

本県の肉用牛飼養頭数は、畜産クラスター事業や畜産担い手事業等による施設整備や草地整備、一括交付金事業や肉用牛経営安定対策補完事業等による繁殖素牛導入を行ったこともあり、平成26年より6年連続増加と好調を維持。また、繁殖雌牛、仔牛生産頭数及び仔牛出荷頭数は、継続して増加しており、今後も仔牛出荷が増加する要因が整っている。



資料：「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」県畜産課 * 肥育牛出荷頭数：(公社)日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」(H15~)



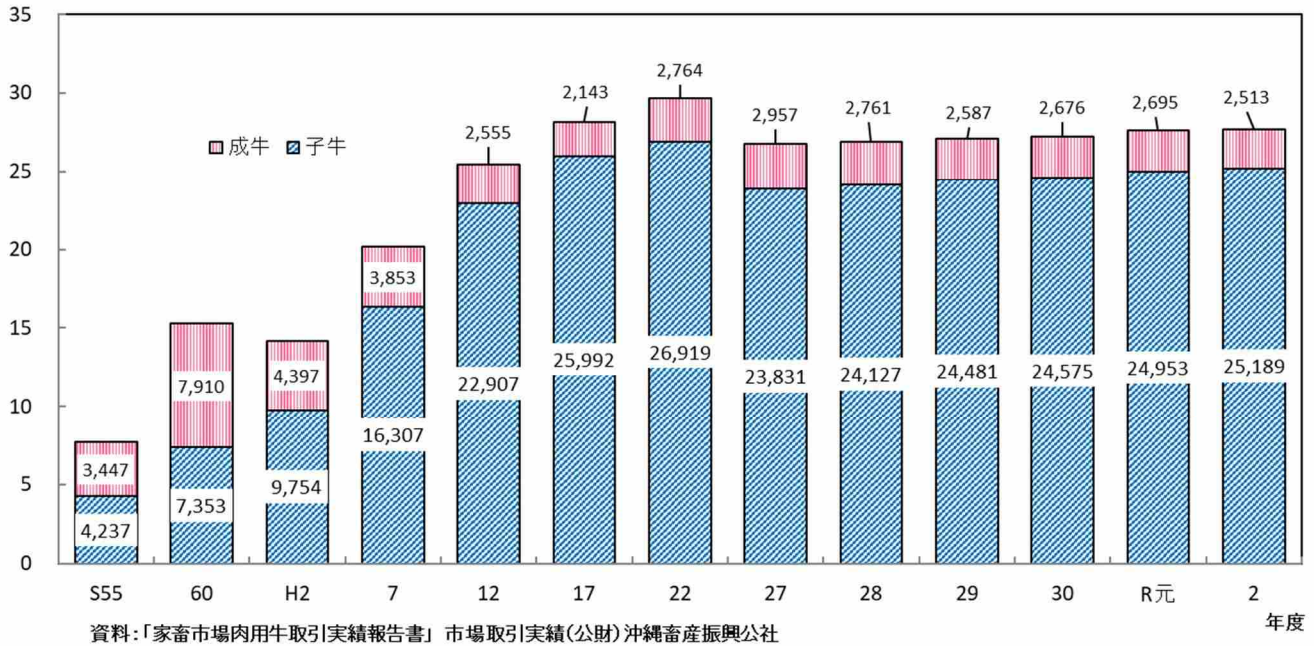
令和2年度県共進会
(本年度は枝肉部門のみ開催。写真は成績品評の様子)

令和2年度県共進会
(特別賞受賞者の皆さん。左から山枝畜産、ヤイマ・ブリーダー・ランチ(代理)、石川 豊氏)

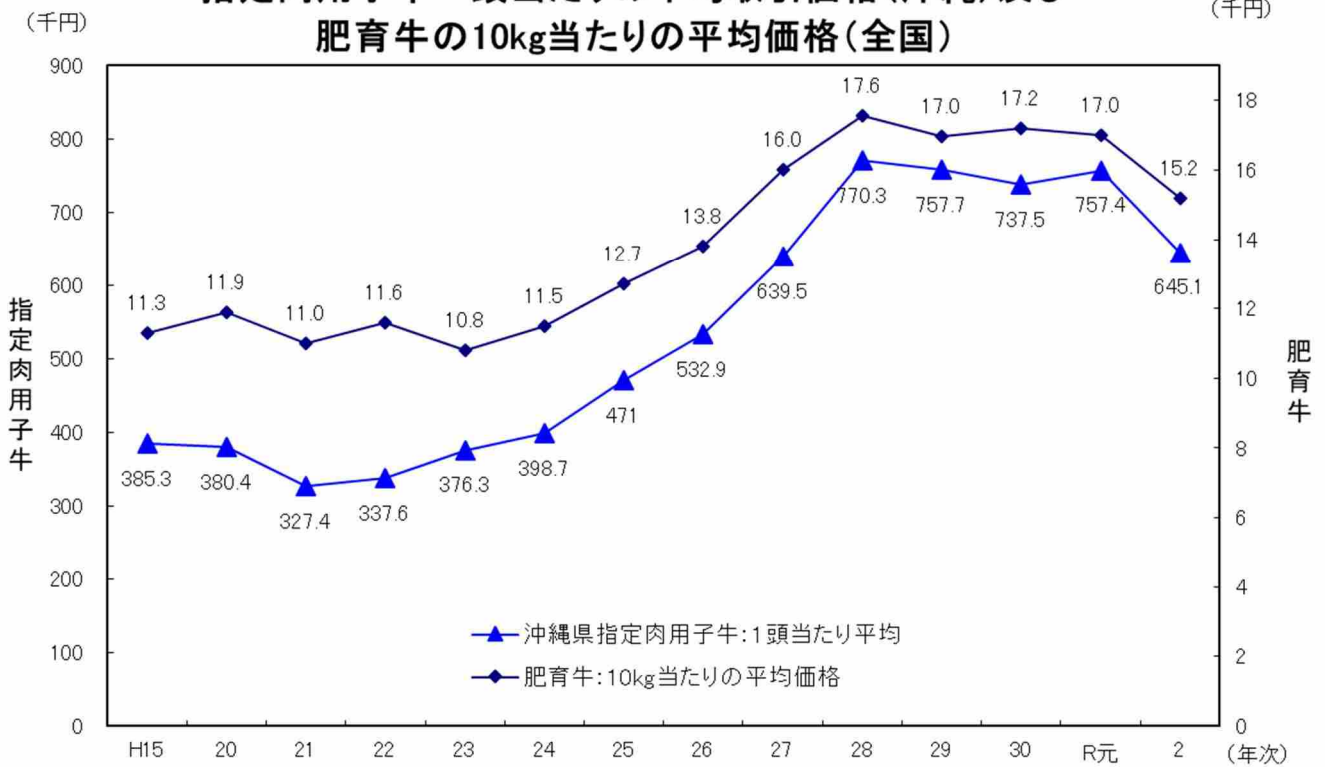


千頭

沖縄県の肉用牛取引頭数

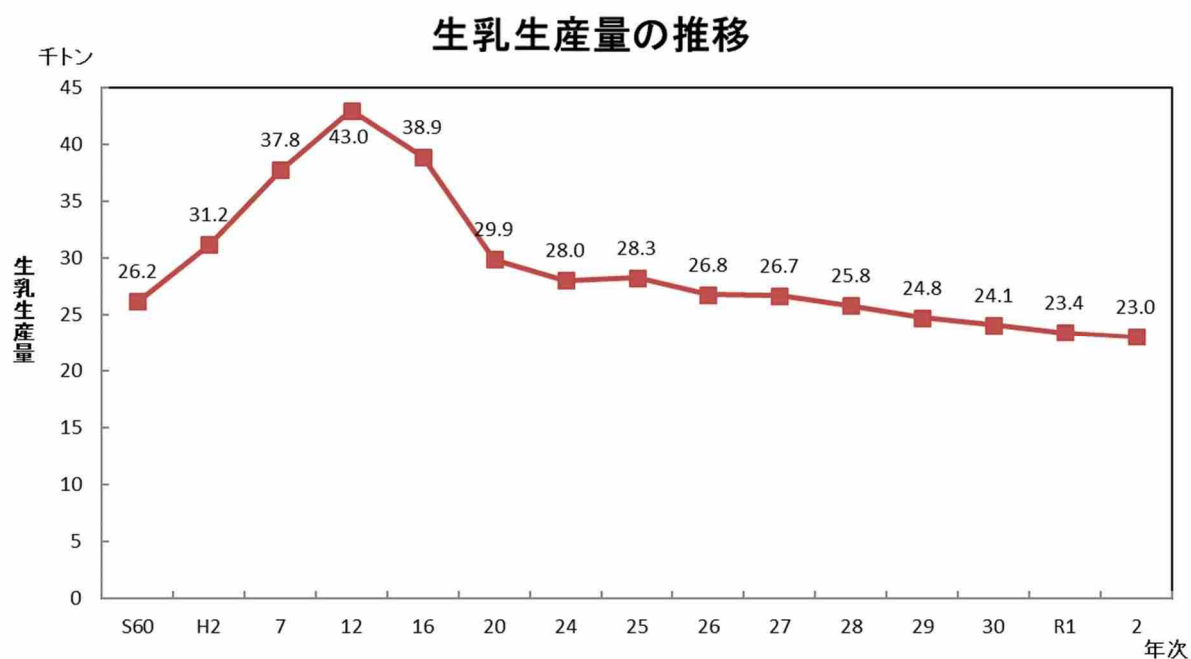
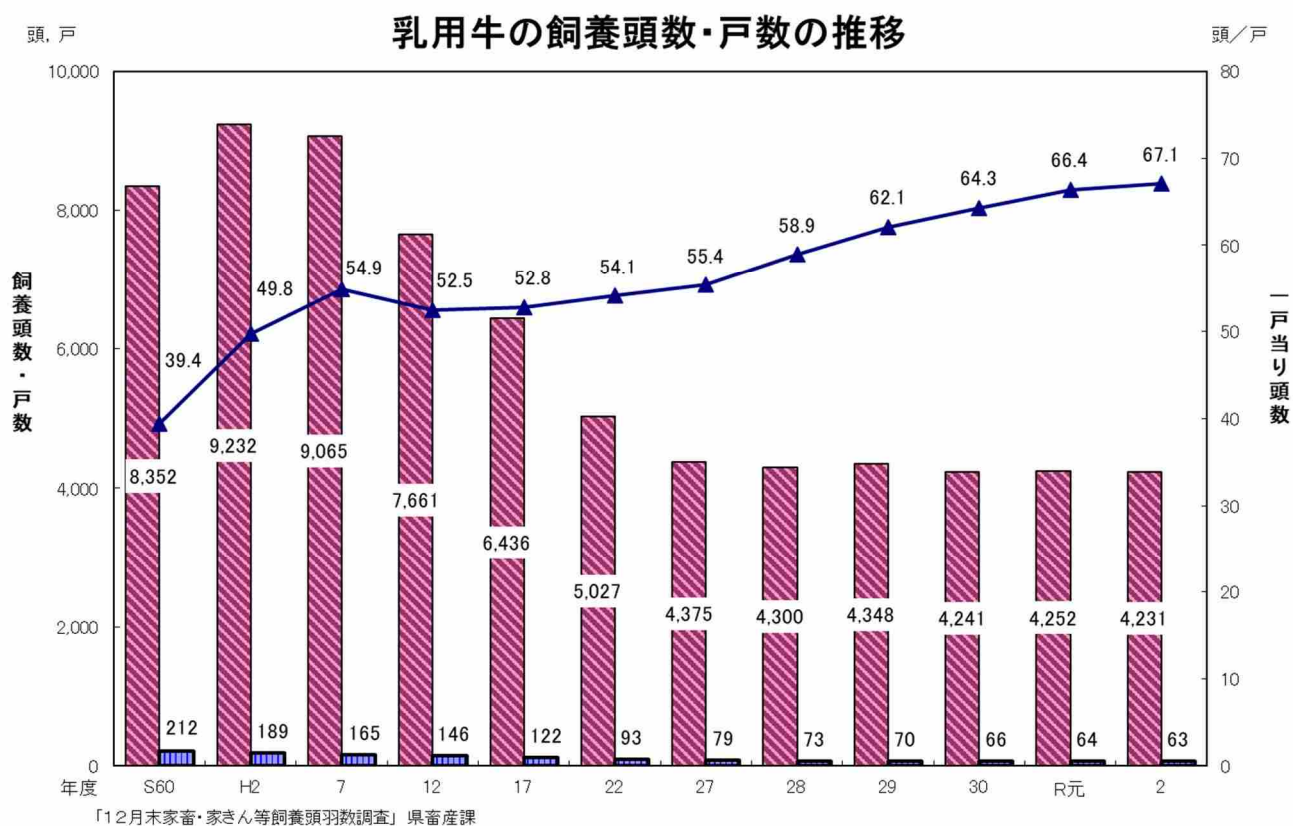


指定肉用子牛一頭当たりの平均取引価格(沖縄)及び 肥育牛の10kg当たりの平均価格(全国)



(2) 酪農

本県の酪農は、全国的な消費の低迷、飼料価格の高騰などにより、飼養戸数、飼養頭数ともに減少傾向で推移しております。後継牛確保においては、県内にある乳用雌牛を育成する家畜改良センターに育成牛を預ける頭数が増えており、乳用牛の県外導入から県内育成へ力を入れております。また、1戸当たりの飼養頭数が増えており、農家の規模拡大が進んでいる状況です。



牛乳需給状況の推移

項目	年次(1~12月)	H8	H13	H18	H23	H28	H29	H30	R元	R2		
県	生乳生産量(t)A	37,221	41,367	34,724	27,360	25,812	24,758	24,118	23,418	23,017		
	生乳移入量(t)	259	199	825	683	833	782	1,003	560	1,139		
	生乳移出量(t)	11	1,481	1,271	51	68	32	0	17	538		
	用途別 処理量 (t)	飲用牛乳向け	35,515	38,621	32,798	27,560	26,475	25,440	25,061	23,916	23,526	
		乳製品向け	1,939	1,378	1,344	345	2	0	0	0	0	
		その他	15	86	136	120	100	68	60	45	92	
		処理量計	37,469	40,085	34,278	28,025	26,577	25,508	25,121	23,961	23,618	
	飲用牛 乳生産 量(kl)	牛乳	一般向け	25,404	23,181	20,243	15,801	15,822	15,298	14,789	14,212	14,061
			学校給食		6,769	6,522	6,707	6,534	6,493	6,500	6,248	5,387
			小計	25,404	29,950	26,765	22,508	22,356	21,791	21,289	20,460	19,448
		加工乳	一般向け	11,822	11,850	9,866	8,257	5,915	5,817	5,504	4,930	4,580
			学校給食	7,788	376	0	0	76	109	39	29	173
			小計	19,610	12,226	9,866	8,257	5,991	5,926	5,543	4,959	4,753
		合計	45,014	42,176	36,631	30,765	28,347	27,717	26,832	25,419	24,201	
	移入量(kl)	314	415	388	830	862	988	1,343	1,818	1,139		
消費量(kl)B	45,328	42,591	37,019	31,595	29,209	28,705	28,175	27,237	25,340			
生乳自給率 A/(B×比重:1.031)	79.6%	94.2%	91.0%	84.0%	85.7%	83.7%	83.0%	83.4%	88.1%			
乳飲料生産量(kl)	6,084	6,474	8,858	8,705	10,201	10,750	10,535	10,217	10,733			
1人当たり飲用牛乳消費量(l)	35.3	32.0	27.0	22.8	20.2	19.8	19.4	18.7	17.3			
全国	生乳生産量(t)	8,656,929	8,301,523	8,133,907	7,473,607	7,393,715	7,280,873	7,292,520	7,313,916	7,438,399		
	用途別 処理量 (t)	飲用牛乳向け	5,186,482	4,941,499	4,645,366	4,057,612	3,991,814	3,979,341	4,000,189	3,999,690	4,019,432	
		乳製品向け	3,351,084	3,266,285	3,407,370	3,350,651	3,349,245	3,251,921	3,243,465	3,270,032	3,374,421	
		その他	119,363	92,686	81,171	65,344	52,656	49,611	48,866	44,194	44,546	
		処理量計	8,656,929	8,300,470	8,133,907	7,473,607	7,393,715	7,280,873	7,292,520	7,313,916	7,438,399	
	飲用牛 乳生産 量(kl)	牛乳	4,222,023	3,875,298	3,702,308	3,062,688	3,049,421	3,088,740	3,141,864	3,159,408	3,148,560	
		加工乳	826,717	575,604	439,135	588,636	441,271	440,078	413,736	400,710	393,695	
		合計(消費量)	5,048,740	4,450,902	4,141,443	3,651,324	3,490,692	3,528,818	3,555,600	3,560,118	3,542,255	
	飲用牛 乳等生 産量(k l)	乳飲料生産量(kl)	1,027,759	1,231,267	1,244,009	1,275,825	1,236,298	1,177,231	1,121,273	1,125,270	1,103,644	
		発酵乳生産量(kl)	534,931	685,281	838,833	65,246	1,104,913	1,076,039	1,067,426	1,023,870	1,059,903	
		乳酸菌飲料生産量(kl)	207,582	176,085	166,446	12,953	140,011	128,721	125,550	115,992	116,661	
	1人当たり飲用牛乳消費量(l)	40.1	35.0	32.4	28.6	27.5	27.9	28.1	28.3	28.2		

(注1) 飲用牛乳の消費量には、加工乳も含まれる。

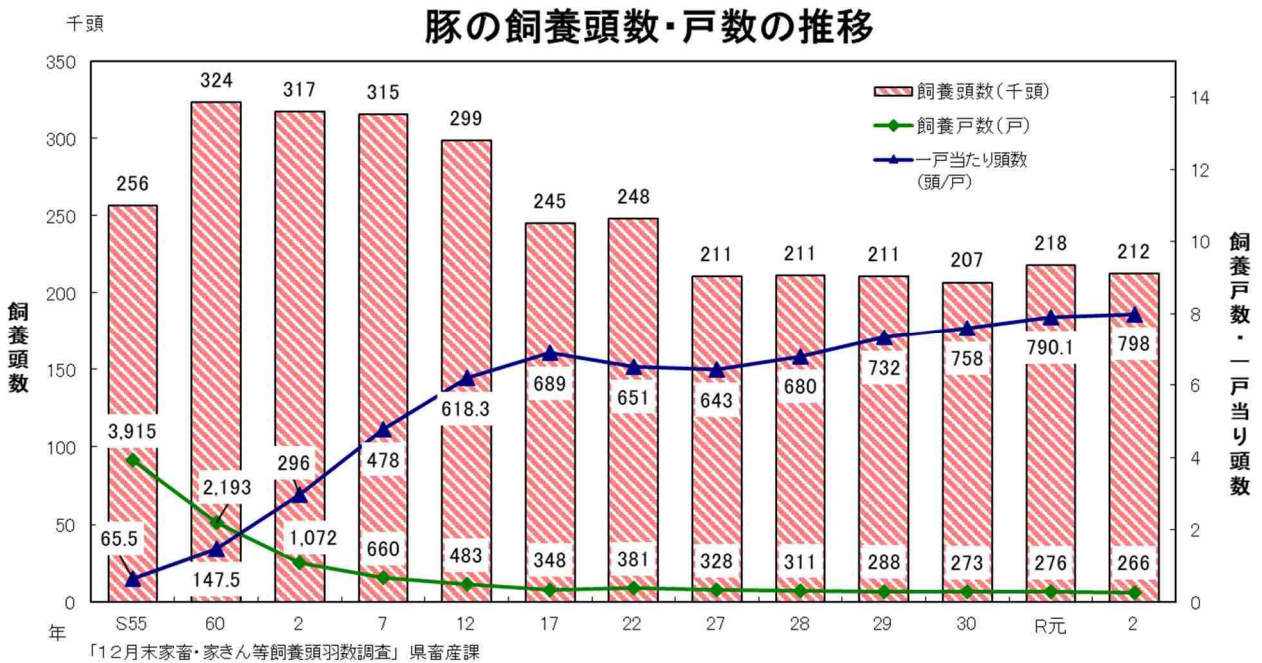
(注2) 値は農林水産省「牛乳乳製品統計」から転記。飲用牛乳1人当たり消費量については、平成19年までは「日刊酪農乳業連報」より、平成20年以降は県推計人口数で除した数値



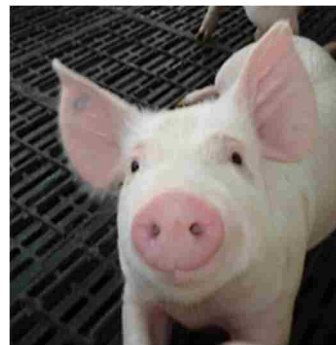
父の日には牛乳(ちち)を贈ろう！キャンペーンによる副知事への県産牛乳贈呈式

(3) 養豚

本県の豚の飼養頭数は、環境問題、担い手不足等の諸問題から、飼養戸数は減少しているものの、1戸あたりの飼養頭数や県内豚「と畜」頭数においては、増加傾向にある。

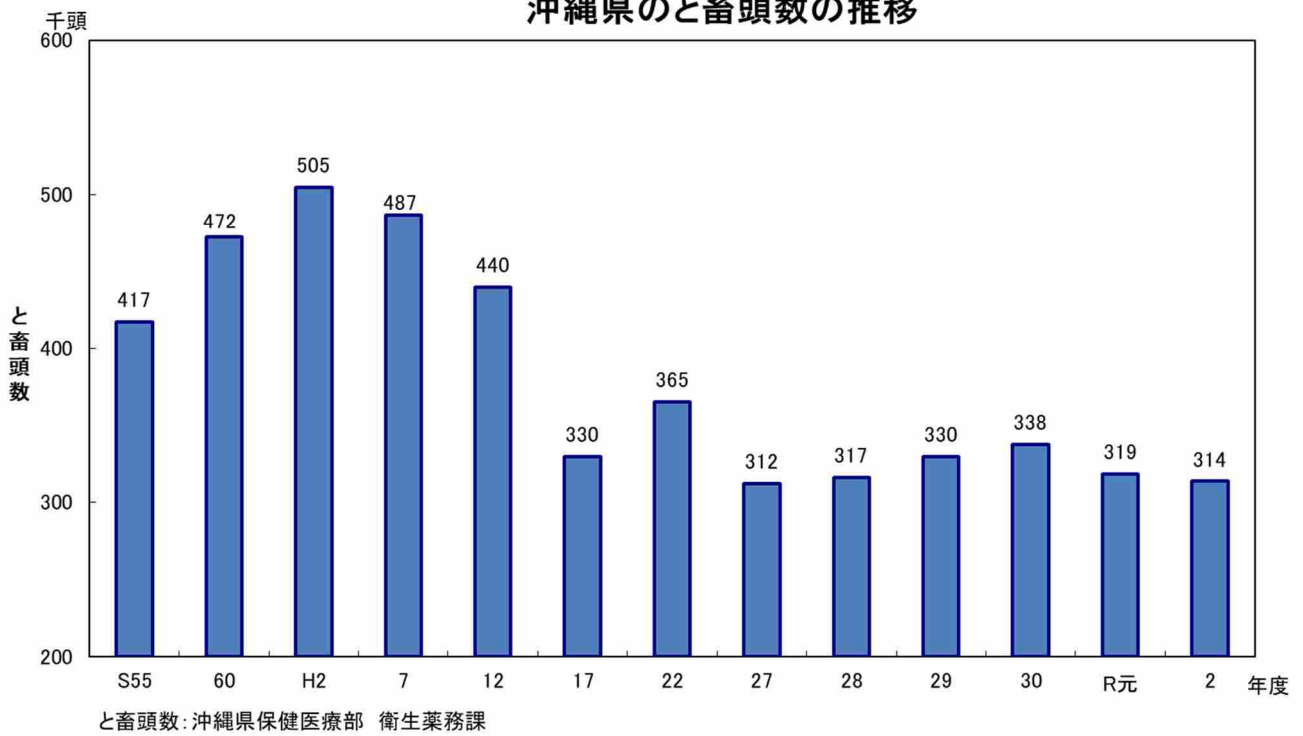


沖縄アグー豚

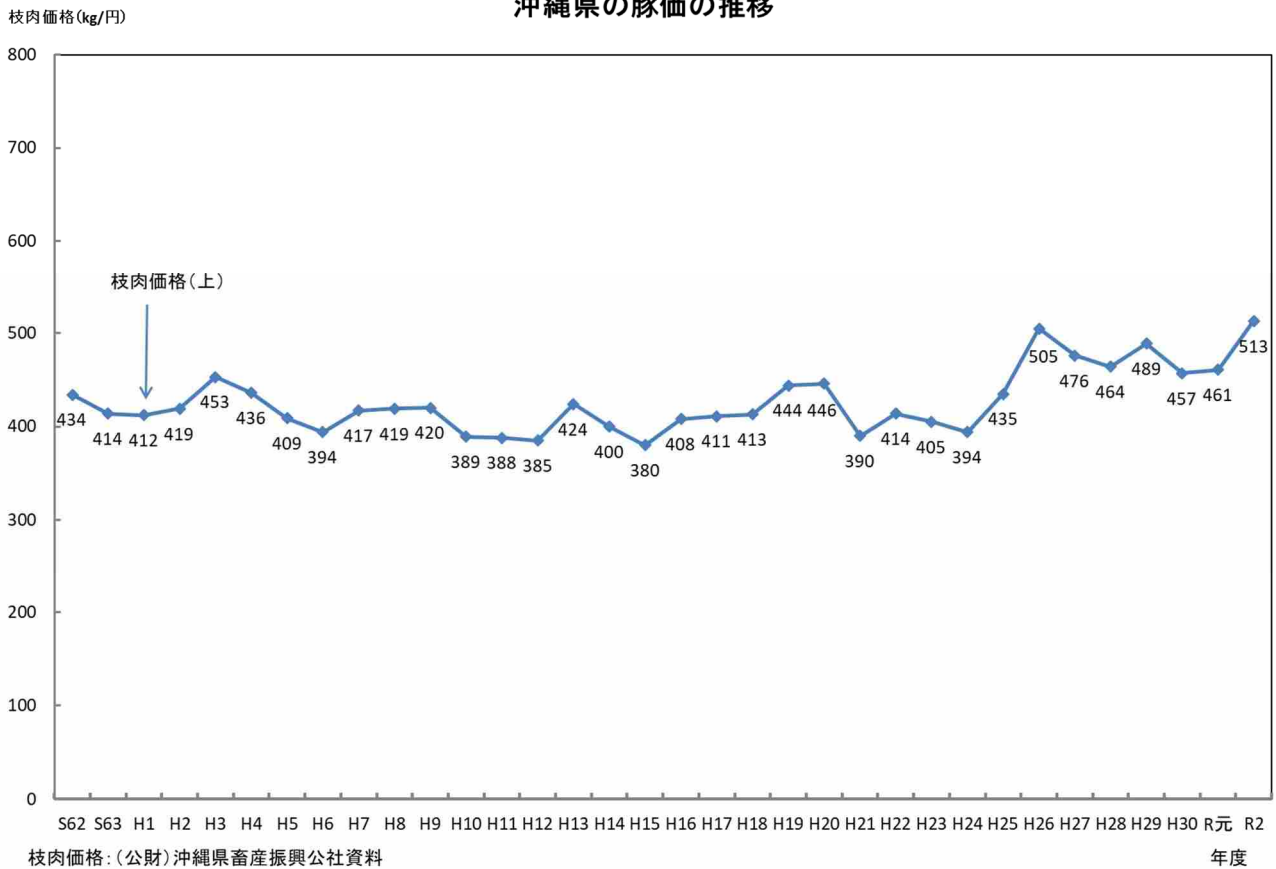


おきなわアイランド

沖縄県のと畜頭数の推移



沖縄県の豚価の推移



(4) 養鶏

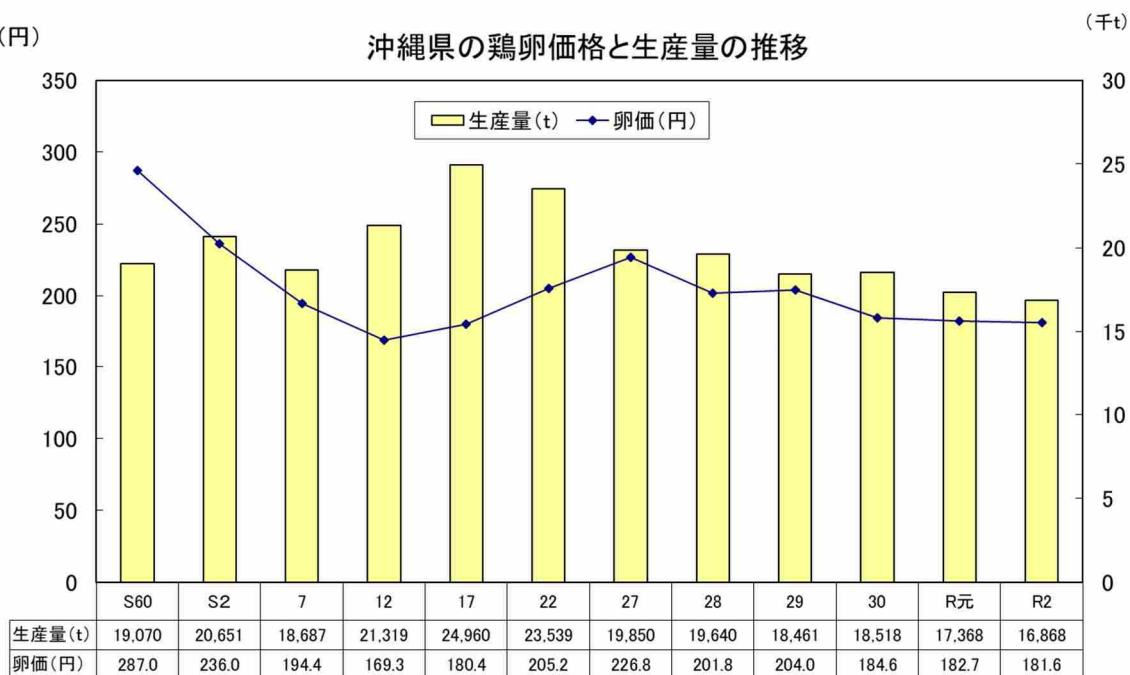
近年、採卵鶏の飼養戸数は減少しているが、一戸当たりの戸数は増加している。飼養羽数及び鶏卵の生産量は減少傾向にある。

沖縄県養鶏協会は、県産たまごの消費拡大促進と養鶏農家の経営安定を図るため、8月9日を「エッグの日」として制定し、県産たまごの消費拡大イベントを行っている。

採卵鶏の飼養羽数・戸数の推移



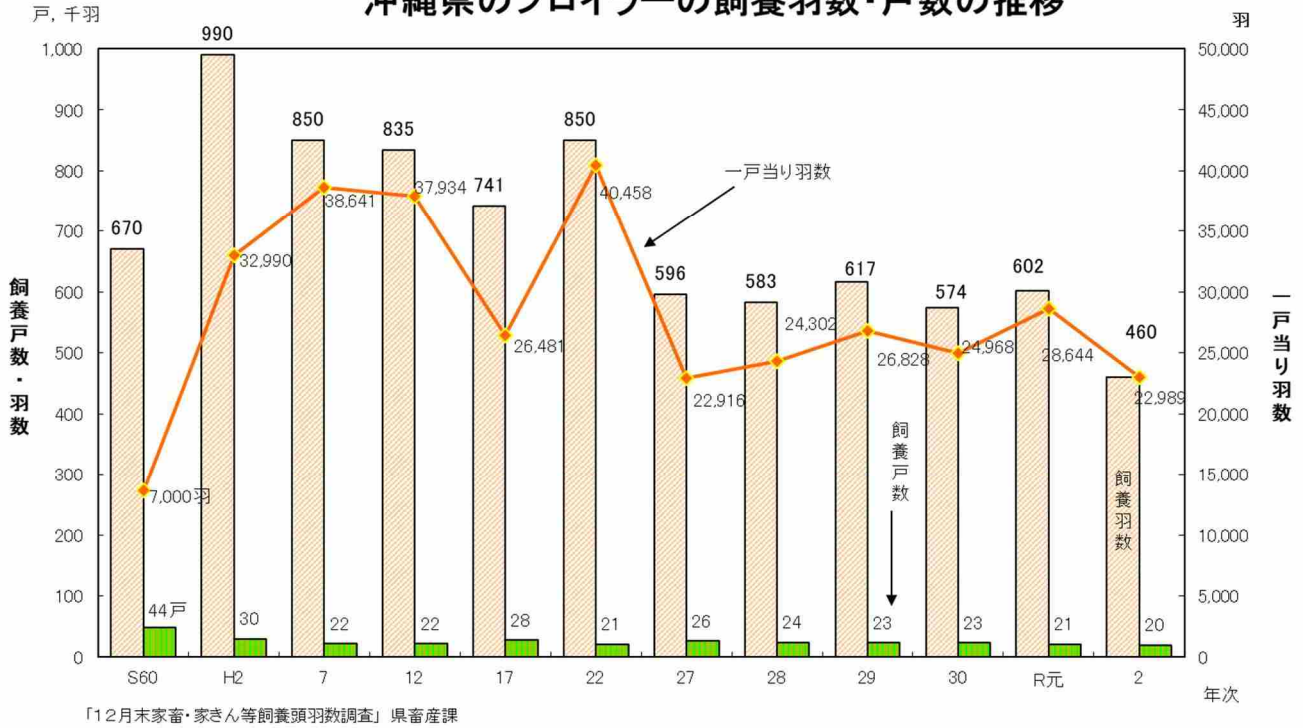
沖縄県の鶏卵価格と生産量の推移



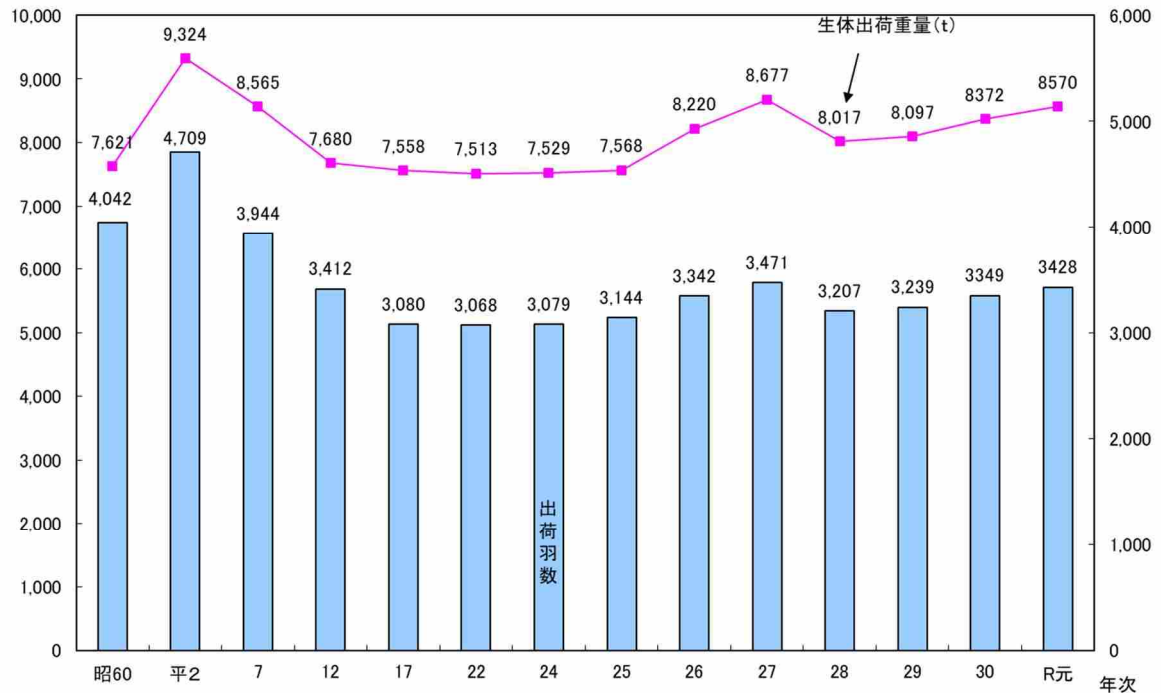
鶏卵価格：(公財)沖縄県畜産振興公社(H23まで) JAおきなわ調べ(H24～) 生産量：畜産物流通統計 (年次)

ブロイラーは、主に沖縄本島北部地域で生産されており、県全体で約45万羽が飼養されている。また、生産した鶏肉は、ほとんどが県内向けに出荷されている。

沖縄県のブロイラーの飼養羽数・戸数の推移



(t) ブロイラー出荷状況 (千羽)



出荷羽数、生体出荷重量：H26年まで農林水産省「食鳥流通統計」より
H27年まで農林水産省「畜産統計」より算出
出荷羽数：H28以降農林水産省「畜産統計」より
生体出荷重量：H28年以降「畜産統計」の出荷羽数に「食肉便覧」の生体重量を乗じて算出